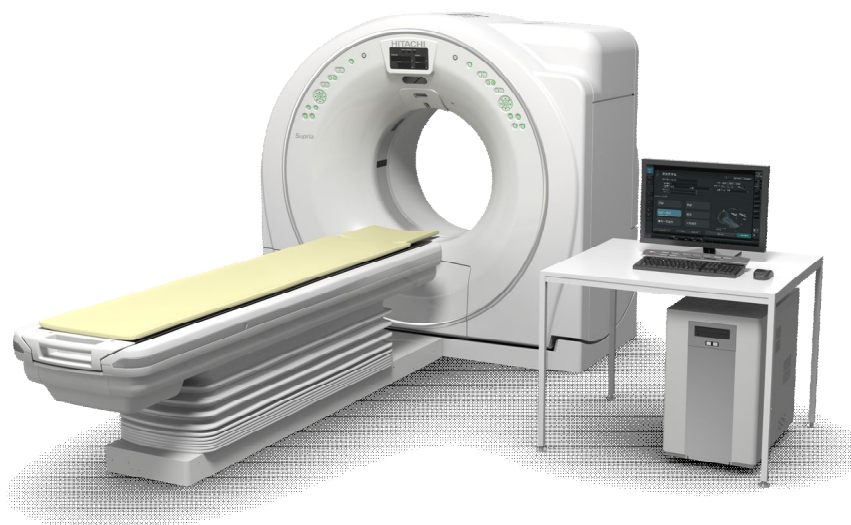


2014年11月26日
株式会社日立メディコ
取締役社長 山本 章雄

16列マルチスライス CT 装置「Supria」^{スプリア}Version 1.20 発売

2013年8月の発売開始以来、全世界 300 台出荷



[装置外観]

株式会社日立メディコ(本社所在地:東京都千代田区、取締役社長:山本章雄、資本金 138 億 8 千 4 百万円)は、広範囲撮影のニーズに対応するため寝台ラインアップを拡充させ、またインジェクタ同期スキャンや被検者情報のカード、バーコード読み込みに対応した新しい 16 列マルチスライス CT 装置「Supria¹⁾」Version 1.20 を発売します。

1. システムの概要

「Supria」は、16 列 CT 装置としてトップクラス²⁾の開口径(75cm)を実現しながら、X 線制御装置をガントリに組み込むことで当社従来機よりも 1 つ少ない 3 ユニット(ガントリ、寝台、操作卓)構成を実現しました。また、先進のノイズ低減技術、直感的に操作可能なユーザーインターフェースなどを搭載しています。このようなオープン&コンパクトなデザイン、高画質かつ高い操作性を日本および海外でご評価いただき、「Supria」は、2013 年 8 月の発売開始以来、全世界に 300 台³⁾を超える出荷を達成することができました。

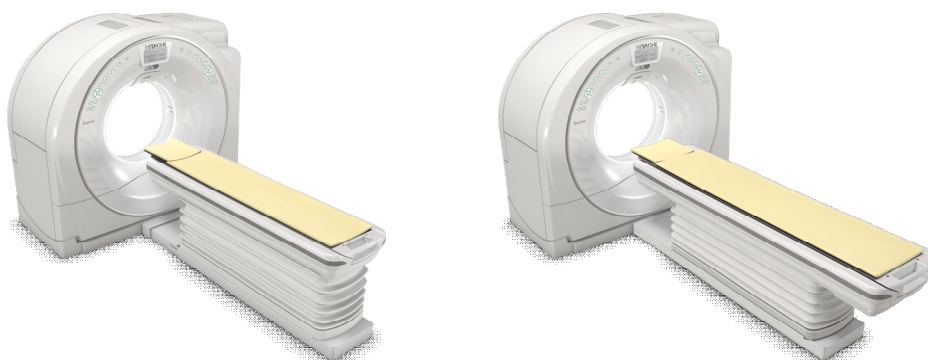
「Supria」Version 1.20 は、広範囲撮影のニーズに対応するため、現行の標準寝台に加えロング寝台も選択可能です。また、短時間に広範囲撮影が可能な CT 装置と造影剤自動注入器のスタートタイミングを同期し、さらに被検者情報をカードやバーコードから読み込むことが可能になりました。

2. 製品の特長

(1) 医療施設に合わせた寝台の選択

オープン&コンパクトな「Supria」は、当社従来機種よりユニットが1つ少ない3ユニットを実現したことにより、コンパクトな検査室でも設置可能です。

しかし、より広範囲な撮影や体格の大きな被検者の撮影に対するニーズに応えるため、当社は、最大で1,800mm(足受け天板使用時)まで撮影可能なロング寝台を開発しました。これにより、検査室の大きさや撮影ニーズに合わせて寝台を選択することができます。



[左:標準寝台、右:ロング寝台]

(2) CT撮影と造影剤自動注入の連動機能

造影剤自動注入器を使用したCT検査において、造影剤が目的とする部位に到達し十分に造影濃度が得られたタイミングで撮影することが重要です。特にマルチスライスCT装置の登場により短時間に広範囲なCT撮影が可能になると、ますます撮影と造影とのタイミングが難しくなります。

「Supria」Version 1.20は、インジェクタ同期スキャン機能*4を搭載し、CT装置と造影剤自動注入器を連動させることで、CT装置と造影剤自動注入器のスタートタイミングを同期して撮影を開始することが可能です。

(3) 被検者情報のカード、バーコード読み込み

CT装置に被検者情報を登録する際、従来は被検者名や生年月日を手入力していたため入力ミスが発生することがありました。

「Supria」Version 1.20は、DICOM MWM*4,5の他に、磁気カードや一次元バーコードで被検者情報を管理している医療施設のニーズに応えるため、CT装置に対応した磁気カードリーダーやバーコードリーダーを接続することで、簡便に被検者情報を読み込むことが可能になります*4。

*1 : Supriaは、株式会社日立メディコの登録商標です。

*2 : 2014年11月現在当社調べ。

*3 : 2014年9月末現在当社調べ。

*4 : オプション機能。

*5 : Modality Worklist Management (モダリティ・ワークリスト管理)

3. 製 品 名: 全身用 X 線 CT 診断装置 Supria
(医療機器認証番号: 225ABBZX00127000)
4. 定価(標準構成): 7 億円(システム構成により価格は異なります)

お客様お問い合わせ先

株式会社日立メディコ CT・MR マーケティング本部 CT 製品企画グループ 【担当: 萩原】
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階
電話 03-3526-8305

報道機関お問い合わせ先

株式会社日立メディコ 法務・コミュニケーション部 【担当: 齋藤】
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階
電話 03-3526-8809

以上